



# さとやま

## 11月の里といきもの

今年も暑かった初秋でしたが、10月には気温が急に下がり、11月になると里は晩秋の風景になってきました。稲刈りが終わった田では、稲の藁（わら）を保存するための藁塚「すずみ」が秋らしい風情を醸し出しています。こうすると雨水は表面を流れ中は濡れません。こうして保存された藁は昔は様々な利用されました。

最近では稲の刈り取りはコンバインで行い、藁は細かく切断されてしまうことが多く、すずみはあまり見られなくなりました。こうした里山のなつかしい風景をお楽しみください。



そんな里では、様々な色の実が実ります。

### センリョウとマンリョウ

どちらも縁起物として飾られますが、センリョウはセンリョウ科、マンリョウはサクラソウ科に分類される植物で、花は全然違います。センリョウは実が茎の先端に、マンリョウは葉の陰につきます。マンリョウの葉は縁が波打つ独特な形で、実がなくてもすぐ見分けることができます。センリョウには実が黄色いものがあり、里でもよく見つかります。





## ムラサキシキブとヤブムラサキ

どちらもシソ科ムラサキシキブ属の植物です。ムラサキシキブは庭木にもよく使われます。ヤブムラサキは実が葉の陰に隠れていることが多く、落葉するまであまり目立ちません。

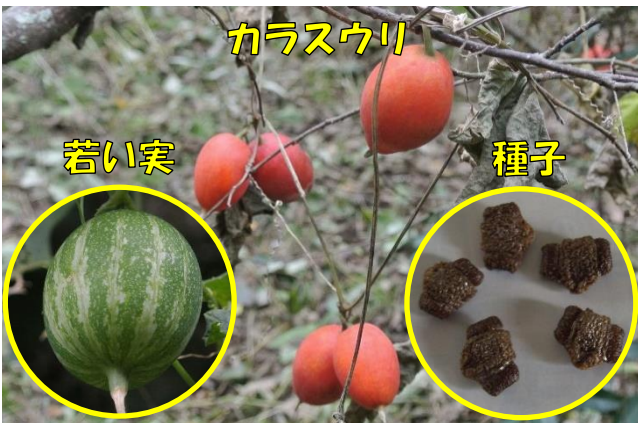
ヤブムラサキの葉は毛が多く、ビロードのような手触りです。よく見ると実のヘタ部分にも毛が生えていて、毛布にくるまれているようです。



## カラスウリとスズメウリ

どちらもウリ科に分類される植物です。カラスウリは、雌雄異株で、雌株にしか実がなりません。はじめは緑色で白い縦縞がありますが、熟すると鮮やかなオレンジ色になります。カラスとついています。カラスが食べるわけではないようです。種子は、他のウリ科のスイカやカボチャの種子とは違い翼がついていて、カマキリの頭のような形をしています。この形を「大黒様の頭」や、「打出の小槌」に見立て、「金運のお守り」としてお財布に入れられることがあります。

スズメウリは、雌雄異花で株の雌花が実になります。若い実は緑色ですが、秋が深まると灰白色に変わります。カラスウリが直径 5~7 cm の長楕円形なのに対し、直径 1~2 cm の球形で小さいため、スズメと名がついたようです。たくさん実ると玉すだれのようになります。ちなみに実には甘味があるそうです。今年はトンボの里で多く見られます。



## アオツツラフジとハスノハカズラ

どちらもアオツツラフジ科のつる性の木本です。アオツツラフジは雌雄異株で、雌株に青色の実がなります。実は、つぶすと紫黒色の汁が出ます。アルカロイド系の毒があり、口にしないよう注意しましょう。中の種子はアンモナイトのような形をしています。

丈夫なつるで籠などを編んで利用したことが、葛籠藤(つづらふじ)の名の由来です。





ハスノハカズラは、田んぼエリアの上の道付近にだけに見られます。最近花や実がよく観察されるようになりました。雌雄異花の雌花に赤い実がなります。

種子はアオツツラフジに似ていますが、アンモナイトとは言えない形です。

葉柄が葉の中央に近いところに盾状について、ハスの葉のようなのが名の由来です。



ハスノハカズラ

種子

## ガマズミとコバノガマズミ

どちらもガマズミ科の落葉低木です。コバノガマズミはガマズミより葉が小さいので名が付けました。ガマズミは数が少ないですが、センターゾーン、サブゾーンどちらにもあります。コバノガマズミは、万灯山エリアでよく見られます。



ガマズミ



コバノガマズミ

## 11月はこんな生きものも見られます

**ワレモコウ**は駐車場北側や田んぼエリアの石垣で見られます。赤いものは花の集まりで、花期は長く、上から下に花が咲いていき、種子ができます。**スズカアザミ**はセンターゾーン全体で咲きます。春に咲くノアザミと違ってたくさんの花の集まりが茎の上につきます。**フユノハナワラビ**はビオトープ上の池付近によく出ます。シダ植物で、花のように見えるのは、孢子葉です。



ワレモコウ



スズカアザミ



フユノハナワラビ



ヤツデ



コウヤボウキ



アキアカネ

**ヤツデ**は万灯山エリアなどでこの時期に花をつけます。高野山で、竹の代わりに箒を作ったという**コウヤボウキ**は万灯山などで花がたくさん見られます。

センターゾーンでは、一番有名な赤とんぼ、**アキアカネ**が飛び交います。

少し肌寒さを感じる里を散策して、深まる秋を満喫してみましょう。



## 10月の行事紹介



「棚田でお米を作ろうⅡ（稲刈）」の講座を10月8日（日）に開催しました。春に田植えをした家族や昨年も稲刈りをした家族などが参加してくれました。最初に、昔ながらの鎌を使っての稲の刈り方、つげ縄で刈り取った稲の縛り方、はざに稲の束の掛け方の指導を受け、稲刈りを開始しました。当日は、昼前から雨が予想されたため、みんなで手分けして素早く稲刈り、はざ掛けを行い、雨が降り出す前に終わることができ、初めての稲刈り体験で楽しい時間を過ごせました。

## 11月の行事予定

5日（日）	秋の里山のキノコたちを観察しよう	20名	AM9:30～11:30	石川まゆみ
-------	------------------	-----	--------------	-------

内容 ～ 里山に生育するキノコについて学びませんか。過ごしやすくなってきた秋の里山を散策しながら、様々なキノコを観察し見分け方や特徴を観察します。

19日（日）	里山 俳キング	20名	AM9:30～11:30	服部くらら
--------	---------	-----	--------------	-------

内容 ～ 自然の宝庫をゆっくり散策しながら、心のファスナーを開けませんか。気づいたことや驚いたことなどを17くらいにすると、それがもう俳句なのです。心が喜びますよ。

## 12月の行事予定

3日（日）	自然の素材でクリスマスリースを作ろう	20名	AM9:30～11:30	磯貝はるみ
-------	--------------------	-----	--------------	-------

内容 ～ 植物の観察をしながらリースの材料を採取します。自然の素材を生かしたオリジナルのクリスマスリースを作ってみましょう。

17日（日）	正月飾りを作ろう	20名	AM9:30～11:30	当園職員
--------	----------	-----	--------------	------

内容 ～ 縁起よく新年を迎えるために飾りたい正月飾りを作ります。里山の竹を使って「花器」を作り、縁起の良いとする松やセンリョウなど心を込めて飾りつけを行います。

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下の場合**は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候**により、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

## 西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

- ◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266
- ◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28～1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課